

## 7. 情報発信・広報活動等

### ①研究活動等の公開状況（講演会、公開講座等）

シンポジウム 講演会		公開講座 セミナー		その他 (施設等の一般公開等)		合 計	
件 数	参加人数	件 数	参加人数	件 数	参加人数	件 数	参加人数
0	0	4	112	0	0	4	112
○主なシンポジウム、公開講演会、施設等の一般公開の開催状況							
開催期間	形態 (区分)	対象	公開講座等名称	概 要	参加 人数		
R2.8.1	公開講座	一般	帯広の森サポーターの 会 とかちのマダニ現 地研修会	帯広の森ボランティア活動 者への啓蒙（マダニの生態 についての講義およびマダ ニ採集）	20		
R2.10.28	研究会	国際	Special seminar on a project for joint us- age/research center	Special seminar on a pro- ject for joint usage/re- search center “Establishment of tick bi- obank and its application to vector biology re- search”	54		
R3.3.16	研究会	国際	Special Lecture on Tick Project (NRCPD)	演題：RNAi-based control of spider mites 講師：東京農工大学 准教授 鈴木丈詞先生 鈴木先生は、植物寄生性の ハダニ(吸汁型)を用い、 RNAi の農薬としての応 用、化学物質等の効率的な 取り込ませ方などを研究 し、それらの研究内容につ いての講演。	16		
R3.3.27	研究会	国際	フィリピンとのセンタ ー同窓生ミーティング	Announcement of Philip- pine-NRCPD annual alumni and scientific meeting	22		

## ② 定期刊行物やホームページによる一般社会に対する情報発信の取組

情報発信の手段・手法	概要およびわかりやすい情報発信のための工夫
ホームページ	<p>センター専用のホームページ（日本語版・英語版）を開設し、研究活動（プロジェクト、国際協力）や研究成果（論文リスト、受賞、年報）のほか、毎年度発行している年報や原虫病に関する国際的定期刊行誌「The Journal of Protozoology Research ISSN 0917-4427」等を掲載し、国内外に向け広く紹介している。</p> <p>なお、研究内容が研究者のみならず、一般市民に向けても、広く理解が得られるよう、情報発信について工夫しており、例えば多くの原虫病を媒介し、人や動物に甚大な被害を与えている「マダニ」の研究については、「マダニ解説ビデオ」や「とかちマダニじてん」を制作し、公開している。</p> <p>さらに、平成 29 年度には OIE コラボレーティングセンター及びリファレンスラボラトリーの専用ホームページを新たに作成し、実施可能なスーラ病診断検査に関する情報と検査依頼手順を公開した。また、この手順書は、米国農務省・動植物検疫所 (UDSA-APHIS) ホームページからも公開されている。</p>
SNS	<p>研究ジャーナルや人材育成活動などの情報を発信するため、Facebook を開設し、研究成果等の情報を公開するとともに、研究者コミュニティや一般ユーザからのレスポンス把握に利用している。</p>
パンフレットの作成	<p>毎年センター概要や研究活動を紹介したリーフレット（日本語版・英語版）を作成し、国内外の関係機関への送付や公共施設への設置、市民が来場するイベントでの配布等により、センターの活動について広く周知している。</p>